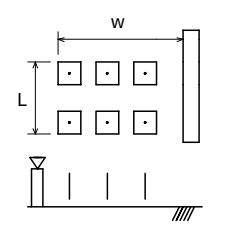
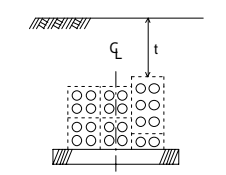
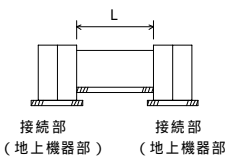
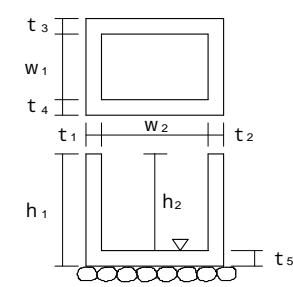


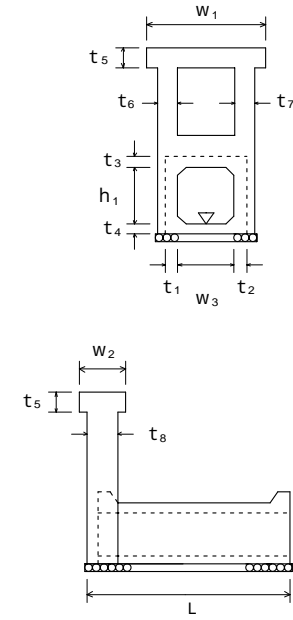
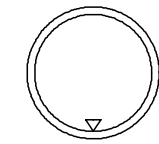
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 河川編	1 築堤・護岸	8 水制工	8		杭出し水制工	基準高	±50
						幅 w	±300
						方 向	±7°
						延 長 L	-200
3 河川編	1 築堤・護岸	11 光ケーブル配管工	3		配管工	埋設深	0~+50
						延長 L	-200
3 河川編	1 築堤・護岸	11 光ケーブル配管工	4		ハンドホール工	基準高	±30
						厚さ t <sub>1</sub> ~t <sub>5</sub>	-20
						幅 w <sub>1</sub> ,w <sub>2</sub>	-30
						高さ h <sub>1</sub> ,h <sub>2</sub>	-30

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1組毎		
接続部（地上機器部）間毎に1箇所。		
接続部（地上機器部）間毎で全数。 【管路センターで測定】		
1箇所毎 は現場打部分のある場合		

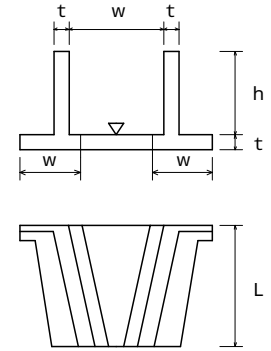
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 河川編	3 樋門・ 樋管	3 樋門・ 樋管本 体工	6	1	函渠工 (本 体工)	基 準 高	±30
						厚  さ $t_1 \sim t_8$	- 20
						幅 $w_1, w_2$	- 30
						内空幅 $w_3$	- 30
						内空高 $h_1$	±30
						延 長 $L$	- 200
3 河川編	3 樋門・ 樋管	3 樋門・ 樋管本 体工	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	基 準 高	±30
						延 長 $L$	- 200

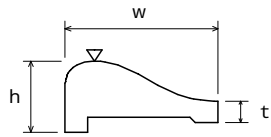
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>柔構造樋門の場合は埋戻前（載荷前）に測定する。</p> <p>函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所にて測定。</p> <p>門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所にて測定。</p> <p>プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認するものとし、『基準高』と『延長』を測定。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 河川編	3 樋門・ 樋管	3 樋門・ 樋管本 体工	7 8		翼壁工 水叩工	基 準 高	±30
						厚 さ t	- 20
						幅 w	- 30
						高 さ h	±30
						延 長 L	- 50
3 河川編	4 水門				扉体、戸当り及び開閉装置	機械工事施工管理基準 (案)参照 (国土交通省制定)	
3 河川編	4 水門				水門塗装	機械工事施工管理基準 (案)参照 (国土交通省制定)	

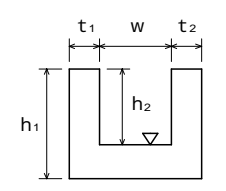
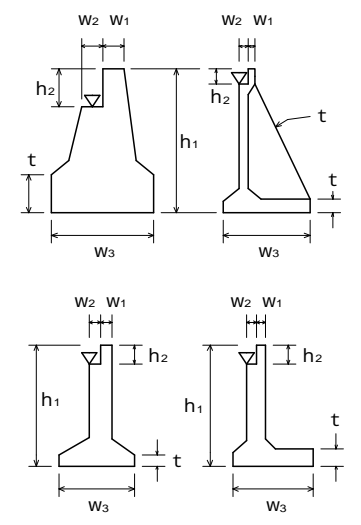
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所にて測定。		
機械工事施工管理基準(案)参照 (国土交通省制定)		
機械工事施工管理基準(案)参照 (国土交通省制定)		

3 河川 編	4 水門	4 水門 本 体 工	7 8 9 10 11	床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	基 準 高	± 30	
					厚 さ t	- 20	
					幅 w	- 30	
					高 さ h	± 30	
					延 長 L	- 50	
3 河川 編	5 堰	4 可 動 堰 本 体 工	13 14	開門工 土砂吐工	基 準 高	± 30	
					厚 さ t	- 20	
					幅 w	- 30	
					高 さ h	± 30	
					延 長 L	- 50	
3 河川 編	5 堰	5 固 定 堰 本 体 工	8 9 10	堰本工 水叩工 土砂吐工	基 準 高	± 30	
					厚 さ t	- 20	
					幅 w	- 30	
					高 さ h	± 30	
					堰 長 L	L < 20m	- 50
						L ≥ 20m	- 100

図面の寸法表示箇所にて測定。		単位：mm
図面の寸法表示箇所にて測定。		
基準高、幅、高さ、厚さは両端、施工継手箇所及び構造図の寸法表示箇所にて測定。		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 河川 編	5 堰	6 魚道工	3		魚道本体工	基 準 高	± 30
						厚 さ $t_1, t_2$	- 20
						幅 $w$	- 30
						高 さ $h_1, h_2$	- 30
						延 長 $L$	- 200
3 河川 編	5 堰	7 管理橋下部工	2		管理橋橋台工	基 準 高	± 20
						厚 さ $t$	- 20
						天 端 幅 $w_1$ (橋軸方向)	- 10
						天 端 幅 $w_2$ (橋軸方向)	- 10
						敷 幅 $w_3$ (橋軸方向)	- 50
						高 さ $h_1$	- 50
						胸壁の高さ $h_2$	- 30
						天 端 長 $l_1$	- 50
						敷 長 $l_2$	- 50
						胸壁間距離 $l$	± 30
						支 点 長 及 び 中心線の変化	± 50

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。(なお、製品使用の場合の製品寸法は、規格証明書等による)</p> 		
<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は図面の寸法表示箇所で測定。</p> 		

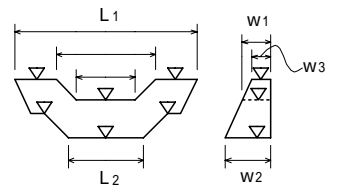
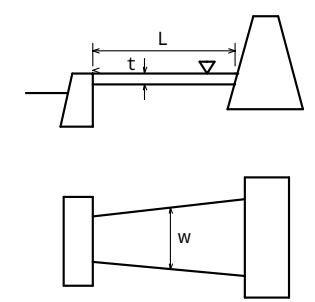
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 河川編	6 排水機場	3 機場本 体工	6		本体工	基準高	±30
						厚 さ t	- 20
						幅 w	- 30
						高さ h <sub>1</sub> , h <sub>2</sub>	±30
						延 長 L	- 50
3 河川編	6 排水機場	3 機場本 体工	7		燃料貯油槽工	基準高	±30
						厚 さ t	- 20
						幅 w	- 30
						高 さ h	±30
						延 長 L	- 50
3 河川編	6 排水機場	4 沈砂池 工	7		コンクリート床版工	基準高	±30
						厚 さ t	- 20
						幅 w	- 30
						高 さ h	±30
						延 長 L	- 50

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の表示箇所にて測定。		
図面の表示箇所にて測定。		
図面の表示箇所にて測定。		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 河川 編	7 床 止 め ・ 床 固 め	3 床 止 め 工	6	1	本 体 工  ( 床 固 め 本 体 工 )	基 準 高	± 30
						天 端 幅 $w_1$	- 30
						堤 幅 $w_2$	- 30
						堤 長 $L_1, L_2$	- 100
						水通し幅 $l_1, l_2$	± 50
3 河川 編	7 床 止 め ・ 床 固 め	3 床 止 め 工	8	1	水 叩 工	基 準 高	± 30
						厚 さ $t$	- 30
						幅 $w$	- 100
						延 長 $L$	- 100
3 河川 編	7 床 止 め ・ 床 固 め	4 床 固 め 工	6		側 壁 工	基 準 高	± 30
						天 端 幅 $w_1$	- 30
						堤 幅 $w_2$	- 30
						長 さ $L$	- 100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面に表示してある箇所で測定。		
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所で測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		
1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。	